

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「米国株アクティブ・グロース戦略ファンド／JPモルガン・米国グロース株式・アクティブETF」は、このたび、第3期の決算を行いました。

当ファンドは、JPモルガン・米国グロース株式・アクティブETFを通じて、主として大型株式を中心に米国株式に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第3期末(2025年2月25日)

基準価額	15,029円
純資産総額	70百万円
第3期	
騰落率	12.3%
分配金(税引前)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、SBI岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

＜運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法＞
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

米国株アクティブ・ グロース戦略ファンド／ JPモルガン・米国グロース株式・ アクティブETF

追加型投信／海外／株式

ファンドは特化型運用を行います。

作成対象期間：2024年8月27日～2025年2月25日

交付運用報告書

第3期(決算日2025年2月25日)

SBI 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

ホームページ <https://www.sbiokasan-am.co.jp>

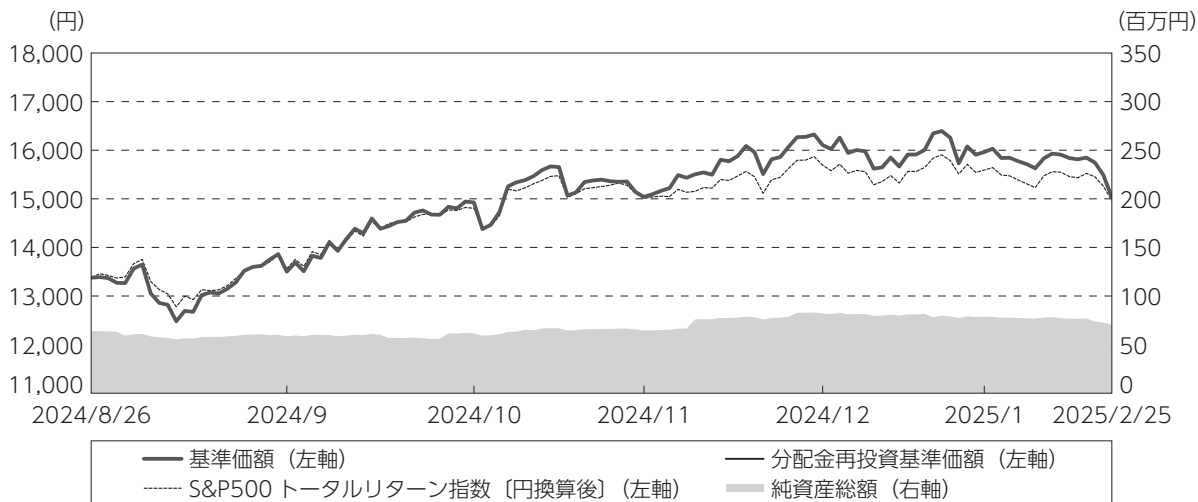
■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ
03-3516-1300 (受付時間：営業日の9:00～17:00)

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2024年8月27日～2025年2月25日)



期 首：13,378円

期 末：15,029円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率： 12.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、S&P500 トータルリターン指数 [円換算後] です。参考指数は、当該日前営業日の現地終値に為替レート (対顧客電信売買相場の当日 (東京) の仲値) を乗じて当社が算出しております。なお、参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。(以下同じ。)
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首 (2024年8月26日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・投資対象である「JPモルガン・米国グロース株式・アクティブETF」の価格上昇がプラス要因となりました。
- ・為替市場で、米ドルが円に対して上昇 (円安) したことがプラス要因となりました。

(主なマイナス要因)

- ・特にありません。

1万口当たりの費用明細

(2024年8月27日～2025年2月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	26 円	0.174 %	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(15)	(0.099)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(10)	(0.066)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.009)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	6	0.042	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(投 資 信 託 証 券)	(6)	(0.042)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.001)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	21	0.140	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(18)	(0.124)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0.009)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	53	0.357	
期中の平均基準価額は、14,800円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

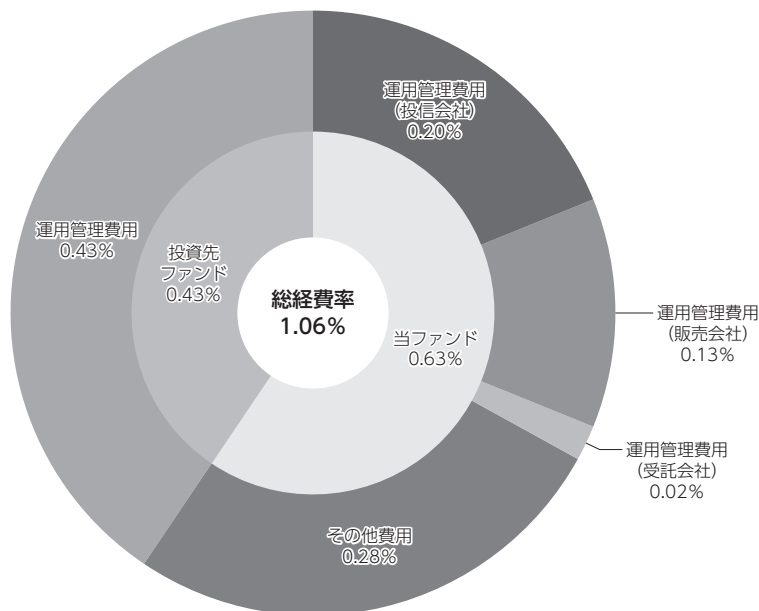
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.06％です。



(単位: %)

総経費率 (①+②+③)	1.06
①当ファンドの費用の比率	0.63
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.43
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	—

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

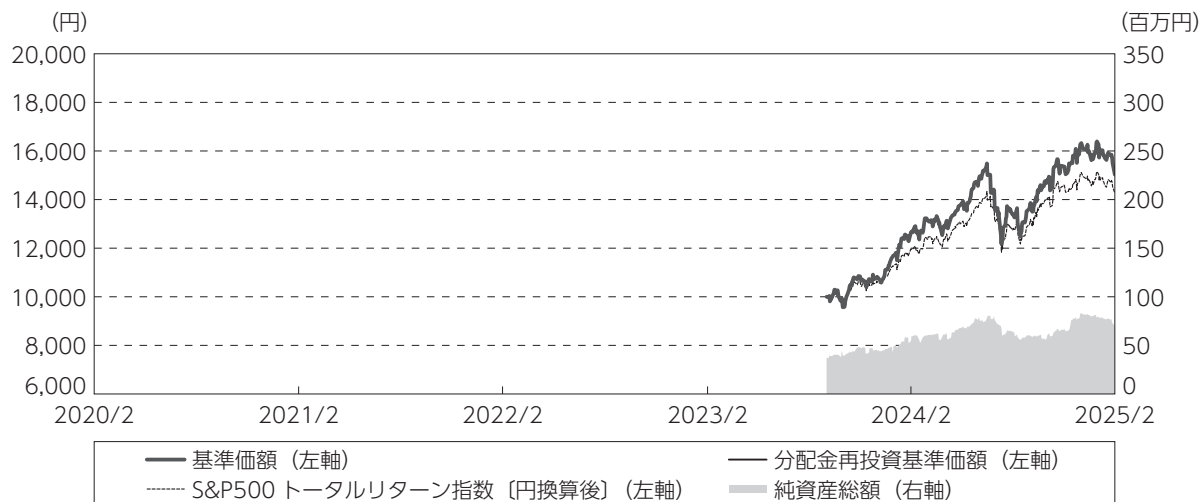
(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの運用管理費用以外はありません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年2月25日～2025年2月25日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) S&P500 トータルリターン指数 [円換算後] は当ファンドの参考指数です。

(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、設定日（2023年9月29日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2023年9月29日 設定日	2024年2月26日 決算日	2025年2月25日 決算日
基準価額 (円)	10,000	12,657	15,029
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	26.6	18.7
S&P500トータルリターン 指数 [円換算後] 騰落率 (%)	—	19.7	19.1
純資産総額 (百万円)	37	54	70

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2024年2月26日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

(2024年8月27日～2025年2月25日)

米国株式市場は、期初から2024年9月上旬にかけては、米国の景気減速が意識されて下落しました。しかし、9月中旬から年末にかけては、米連邦公開市場委員会（FOMC）における利下げ期待を背景に株価は上昇基調が続きました。11月上旬の米国大統領選挙では、大統領職と上下両院の多数派を共和党が占める「トリプルレッド」の結果となり、トランプ次期大統領の政策が実現しやすい体制となったことを好感する動きが見られました。2025年に入ってから高値圏でもみ合う動きが続きましたが、2月中旬以降はトランプ大統領の関税政策への懸念から株価は下落する展開となりました。

為替（米ドル／円）は、期中に上昇（米ドル高／円安）する展開となりました。期初から2024年9月中旬にかけては、米国での利下げ開始観測を背景に下落しました。9月下旬から11月中旬にかけては、日銀が当面は追加利上げに踏み切る可能性は低いとの見方が強まったことから、米ドル／円は反発しました。その後、期末にかけては概ねレンジ内で一進一退する展開となりました。

当ファンドのポートフォリオ

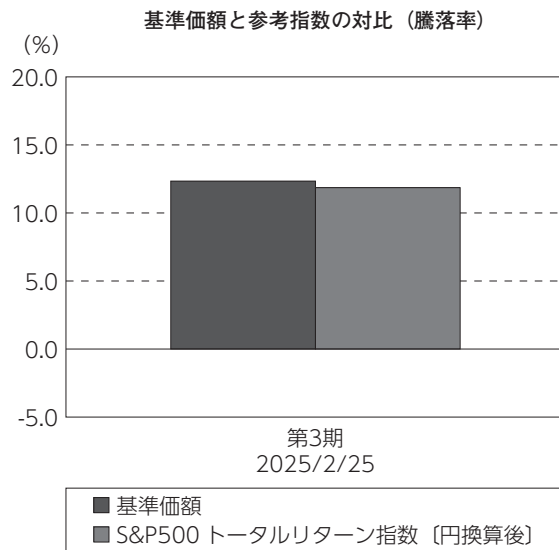
(2024年8月27日～2025年2月25日)

当ファンドの運用につきましては、「JPモルガン・米国グロース株式・アクティブETF」への投資を通じて、主として大型株式を中心に米国株式に投資し、投資信託財産の成長を目指した運用を行いました。資金フローに対応しながら組入比率を高位で維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年8月27日～2025年2月25日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、S&P500 トータルリターン指数（円換算後）です。

分配金

(2024年8月27日～2025年2月25日)

当期の分配金につきましては、基準価額水準等を勘案して、以下のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項 目	第 3 期
	2024年 8月27日～ 2025年 2月25日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,029

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(投資環境)

米国株式市場は、引き続き方向感のない展開が続くと予想されます。ハイテク企業を中心に好決算が持続している点はプラス材料である一方、トランプ大統領による関税政策に対する不透明感が強く、米国経済への成長不安も残ることから、各種経済指標の動向が注目されます。

(運用方針)

「JPモルガン・米国グロース株式・アクティブETF」の高位組入れを継続する方針です。

お知らせ

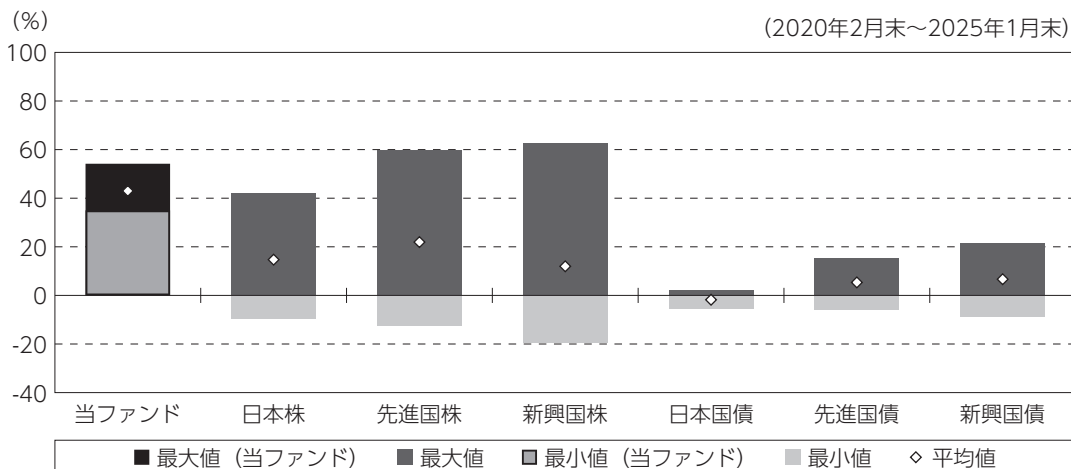
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式	
信 託 期 間	2023年9月29日から2045年8月24日までです。	
運 用 方 針	JPモルガン・米国グロース株式・アクティブETFを通じて、主として大型株式を中心に米国株式に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当　フ　ァ　ン　ド	米国の取引所の上場投資信託証券（ETF）（米ドル建）の受益証券を主要投資対象とします。
	J P モ ル ガ ン ・ 米 国 グ ロ ー ス 株 式 ・ ア ク テ ィ ブ ETF	主として大型株式を中心に米国株式を主要投資対象とします。
運 用 方 法	投資にあたっては、J.P.モルガン・アセット・マネジメント独自のファンダメンタル分析に基づくボトムアップ・アプローチにより、収益成長の潜在性が高いと考えられる銘柄を選別します。	
分 配 方 針	毎年2月24日および8月24日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 分配金額は、分配対象収益の範囲内で、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。 委託会社の判断により、収益分配を行わないことがあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	54.2	42.1	59.8	62.7	2.3	15.3	21.5
最小値	35.0	△ 9.5	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	43.0	14.7	21.9	12.0	△ 1.8	5.3	6.7

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年2月から2025年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドにつきましては、2024年9月以降の年間騰落率を用いています。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

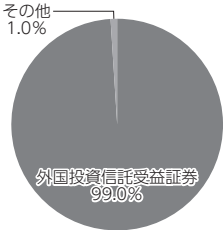
組入資産の内容

(2025年2月25日現在)

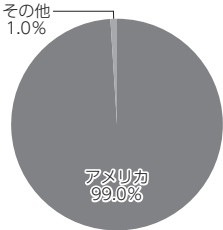
○組入上位ファンド

銘柄名	第3期末
J.P.モルガン・エクスチェンジ・トレード・ファンド・トラストーJPモルガン・米国グロース株式・アクティブETF	% 99.0
組入銘柄数	1銘柄

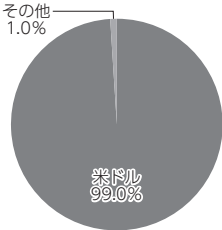
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第3期末
	2025年2月25日
純資産総額	70,429,293円
受益権総口数	46,861,785口
1万口当たり基準価額	15,029円

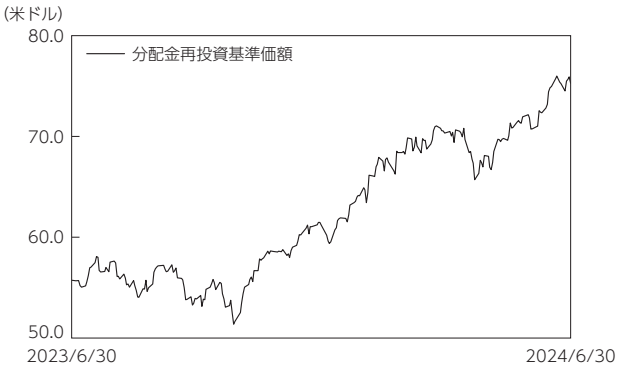
(注) 期中における追加設定元本額は18,987,301円、同解約元本額は19,959,573円です。

組入上位ファンドの概要

J.P.モルガン・エクスチェンジ・トレーディッド・ファンド・トラストーJPモルガン・米国グロース株式・アクティブETF

※ BloombergおよびJ.P.モルガン・アセット・マネジメントのデータ等を基に、S B I 岡三アセットマネジメン
トが作成し掲載しております。

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2023年7月1日～2024年6月30日)

当ファンドは外国の取引所に上場しているETFのため、該当データは公表
されていません。

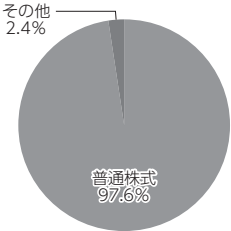
【組入上位10銘柄】

(2024年6月30日現在)

	銘柄名	比率
		%
1	Microsoft Corp.	10.2
2	NVIDIA Corp.	9.7
3	Amazon.com, Inc.	6.5
4	Meta Platforms, Inc., Class A	5.5
5	Apple, Inc.	5.2
6	Alphabet, Inc., Class C	4.9
7	Eli Lilly & Co.	4.3
8	Broadcom, Inc.	3.1
9	JPMorgan U.S. GovernmentMoney Market Fund Class IMShares, 5.25% (Cost\$50,270,146)	2.4
10	Mastercard, Inc., Class A	2.3
組入銘柄数		97銘柄

(注) 組入銘柄数には、マネー・マーケット・ファンドを含みます。

【資産別配分】



【国別配分】

当該情報については開示されていません。

【通貨別配分】

当該情報については開示されていません。

(注) 比率は、「J.P.モルガン・エクスチェンジ・トレーディッド・ファンド・トラストーJPモルガン・米国グロース株式・アクティブETF」の純資産総額に対
する各組入資産の評価額の割合です。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA － BPI国債

NOMURA － BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA － BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。